

あいのう消費者の会

# いきいき通信

発行 愛農消費者の会いきいき通信編集部

連絡先 愛農流通センター名古屋本部

名古屋市天白区井口2丁目903番地

## 私にできる支援、私だからできることを

愛農消費者の会が  
東日本大震災写真展

愛農消費者の会は、三月二十一日に半田市板山公民館で「あれから4年 東北の今 東日本大震災写真展&お話し」を開催しました。

被災地でボランティア活動を続け、被災者の写真を撮り続けている半田市在住の桜井登也さんの写真を展示し、現地まで来てきたことや感じたこととお話いただきましたが、改めて自分に出る支援とは？と自分を始め参加した方も一歩を踏み出すきっかけになったように思いました。

トークショーでは避難所で炊き出しを続けるイスラム教徒の方々の写真を手に、彼ら



トークショーでは車座になって参加者も一緒に思いを語り合いました。

保養キャンプの支援金や支援物資の募集も行いました。



が何故、異国の地で見ず知らずの人々のために炊き出しをするのかをお話してくださり、人の心の優しさに胸を打たれました。困っている人を助けるのは当たり前なこと、なんですよね。

彼らは食材が底を尽きそうになっても慌てず「大丈夫何とかなるよ!」と言っていたそう。「神様が助けてくれる」と。現にその後すぐに食材を提供してくれる人が現れたのだそう。

信仰とはそういうものかな、と思うお話でした。イスラム国の事でイスラム教徒が言われなき差別を受けるのは悲しいことですね。こういう現実を知っておくことは大切なことだと思います。

桜井さんは福島の子供達の保養キャンプを主催するアイチカラに同行して、子供達の写真を撮ったり一緒に遊んだ

りサポートをしていらつしやいます。今回はアイチカラの学生代表の朝日唯さんとコンテンポラリーダンサーの沼田眞由みさんにもトークセッションして頂き、キャンプのお話も沢山お聞きすることができました。お話を聞いた参加者も自分もキャンプのお手伝いをしたい!と参加表明してくれたのは嬉しく思いました。

桜井さん自身、被災地に何度となく訪れる中で「自分にしか出来ないこと」、「自分だからできること」、そんなことを考えて、写真を撮るようになったそうです。そしてせっかくなら「見た人が笑顔になる写真を撮りたい」、と。こうして「笑顔の写真屋さん」と「やさん」が誕生しました。

私にできる支援、私だから出来ること、をしていきたい。と強く思える時間でした。出来ない理由を探すより出来ることを見つけていきたいです!

ご参加頂きました皆様、関係者の皆様ありがとうございました。  
(猫村さん)

## 福島の子どもの保養キャンプに役立てて 来場者が支援金や支援物資を寄付

写真展の会場では、NPO法人「アイチカラ」(運営事務局名古屋市)が福島の子どもの対象に毎年岐阜などで行っている保養キャンプの支援金と支援物資の受け付けも行いました。

支援金は総額7,489円が集まりました。募金をしていただいた方には、桜井さんが撮影したポストカードをプレゼントしました。支援物資は洗剤、調味料、タオル、ラップなどキャンプに必要な日用品や食料品が集まりました。集まった支援金と支援物資は消費者の会からアイチカラの担当者に手渡しました。ご協力い

ただいた来場者の皆様、ありがとうございました。

アイチカラがこの夏に行く保養キャンプに向けて引き続き支援金や支援物資を募集しているので、消費者の会も協力していきたいと思えます。

愛農の協力を得て、毎週の商品配達便を利用して、支援物資を集めることも検討しています。詳細が決まりましたら、お知らせします。

アイチカラの詳しい活動内容やこれまでのキャンプの実績などはアイチカラのホームページ(アイチカラで検索)で紹介されています。



**今年も生産者も交えて料理教室も  
消費者の会が経営指針発表会に参加**

愛農流通センターでは毎年3月に本年度の成果発表と、次年度の経営指針発表会を行います。今回、消費者の会からは「いきいき通信」編集長の豊田さんと宮代が出席し活動報告をして参りましたので、その内容の一部を報告いたします。

愛農消費者の会が2014年度に携わった活動は、毎月1回の「いきいき通信」発行の他に、添加物勉強会6回、石けん勉強会2回、料理教室2回その他、EM勉強会、化粧品勉強会、収穫感謝祭、東城百合子先生講演会、東日本大震災写真展及び講演会、産地見学各1回です。たくさんの方の協力と参加をいただき、ありがとうございました。

2015年度は前年度の活動を継承し、更に皆さんが各種勉強会で得た知識を実践に活かして頂くための方法を模索し、料理教室に生産者の方にも参加して頂き、一緒に作り、食べ、声を聞かせて頂く事を考えております。

他にも各種アンケートを実施し、皆さんの声を愛農に提案・要求することで、消費者にとってより有意義で楽しく買い物ができる事を目指していきます。(宮代佐吉)

**念願の手作り味噌に初挑戦！！**



ゆでたての大豆、こうじ、塩。丁寧<sup>うれ</sup>に優しく、そして楽しく！混ぜ合わせて容器につめる。

一緒に参加した6歳の女の子たちは「わあー！こうじ？塩！優しく、ほぐすのね」と一人前の参加ぶり。

我が子と一緒に原材料を見て、触れることから始まり、「おいしくなれ！！」と願いつつ貴重な時間を過ごすことができました。

ずっと前から、“手づくりみそ”に興味があったものの・・・なかなか実行に移せずにいた私に、“一緒に作って見ない？！”とお誘い<sup>うれ</sup>くださったことが嬉しくて！嬉しくて！このような出会いに感謝の気持ちでいっぱいです。

今の世の中、全体の流れが何事も手軽に、便利になっています。娘はいずれ妻となり、母となることでしょう。その時、台所を預かる一人として、身体に良いものを選択できるように、今、現在進行形で母業をしている私があえて、面倒だけど本来の味がするものに出会えるように挑戦している毎日です。

できることから、できるときに、無理をせず～を motto に。(H)

タッパーやガラス瓶で仕込みました

**自家製のお米がおいしい カフェ「Bucks yard」**

知多市にあるカフェ「Bucks yard(バックスヤード)」で、モーニングを食べました。ドリンクを注文すると手づくりスコーンとサラダ、フルーツがついてきました。値段はドリンク代のみでした。スコーンは国産小麦粉とアルミニウムフリーのベーキングパウダーなど安全な材料を使用したお店の手作りです。

ランチもあり、自家製の玄米か黒米入り白米が選べ、味噌汁とおかず6種で、1,080円です。味噌汁もおかずも季節の野菜がたっぷりでした。野菜はできるだけ有機栽培の地元産のものを使用し、豆腐は愛農の大豆を使った自家製とのことでした。

店内には「シェアシード」のコーナーがあり、固定種や在来種の野菜の種が瓶に入って並べられてありました。シェアシードとは自分たちの畑で採れた野菜や花の種を、みんなで分かち合おうというもので、欲しい人は種をもらうことができます。栽培して種ができれば、今度は提供すればOKです。

住所 知多市大興寺字長根86-1、電話0562-56-2085  
営業日は毎月1-20日8時-18時(モーニング8-11時、ランチ11時半-14時)

**本の玉手箱 ささきますみ**

「PTAをけっこうラクにたのしくする本」

大塚 玲子 太郎次郎社エディタス 1728円  
(税別) 2014.5

PTA歴7年目に突入しました。あるようであまりないのがPTAの本。今のPTAの現状を、いろんな現場のかたからの投稿やアンケートを交えてわかりやすくレクチャーしています。→お金の使い方・委員会のあり方・先生のお考え。子どもにとって一番ベストで、親が負担に感じないPTA、理想です。現状では”究極のボランティア”だと日々思います。でも皆さん共通するのは、子供達のためにより良い環境を！だと再認識させていただきました。楽しんで参加したいものです。

**編集後記** 消費者の会で写真展を開きました。初めての企画で、来場者がどれくらいあるか、どんな会になるか、当日まで自分の中で想像できませんでした。トークショーでは一方通行の話ではなく、来場者も交えて、震災について語り合うことができました。4年がたった今、被災地から離れている私たちは、震災のことを忘れがちですが、被災地の現状をまず知ることが大事だと思いました。自分に何ができるか考えるきっかけになりました。(じ)